

2006年度(2006年1月1日から
2006年12月31日まで)事業報告書

1. 事業の概要

1-1. 学術的会合

1-1-1. 第61回年次大会関係

会期: 3月27日(月)~30日(木)

会場: 愛媛大学・松山大学(両大学とも松山市文京町)

講演数: 3,934件

内訳: 原著講演 3,675件 シンポジウム講演 216件 招待・企画講演 41件 総合講演 2件

参加登録者数: 5,123名

会員 4,945名(一般3,216名 学生1,729名)

非会員 178名(一般78名 学生100名)

総合講演: 3月29日(水)9:50~12:05

愛媛県県民文化会館メインホール(松山市道後町)

1. 光と磁場でつくる新物質相 60分
十倉好紀(東京大学大学院工学系研究科)
2. 物理教育への期待と課題 60分
覧具博義(東京農工大学工学部)

参加者数: 約1,100名

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

会期: 3月25日(土)15:00~17:00

場所: 愛媛大学共通教育講義棟大講義室(グリーンホール)

企画: 市民科学講演会「青色発光ダイオードの研究開発を振り返って」
中村修二(University of California, Santa Barbara校)

参加者数: 約250名

1-1-1-1. 第2回Jr.セッション(主に高校生による講演発表会)

会期: 3月29日(水)午後

会場: 愛媛大学共通教育講義棟大講義室(グリーンホール)

発表件数: 口頭10件 ポスター23件 計33件

表彰件数: 優秀賞10件 ポスター賞10件

参加者数: 約200名(うち高校生約50名)

1-1-2. 秋季大会

1-1-2-1. 核物理・宇宙線・宇宙物理関係大会

会期: 9月20日(水)~23日(土)

会場: 奈良女子大学(奈良市北魚屋東町)

講演数: 498件

原著講演 455件 シンポジウム講演37件 招待・企画講演 6件

参加登録者数: 703名

会員 677名(一般465名 学生212名)

非会員 26名(一般5名 学生21名)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

会期: 9月23日(土)13:30~16:00

場所: 奈良女子大学記念館

企画: 奈良市民科学講演会
「湯川先生が教えてくれたこと」 坂東昌子(愛知大)
「宇宙論における2つのダーク成分をめぐって」 池内了(総研大)

参加者数: 約200名

1-1-2-2. 素粒子関係大会(米国物理学会との合同開催)

会期: 10月29日(日)~11月3日(木)

会場: シェラトン・ワイキキ・ホテル(アメリカ・ハワイ州オアフ島)

講演数: 550件

原著講演 501件 シンポジウム講演 30件 招待講演 19件

参加登録者数: 650名(日本240名, 米国350名)

1-1-2-3. 物性関係を含む上記以外の大会

会期: 9月23日(土)~26日(火)

会場: 千葉大学西千葉キャンパス(千葉市稲毛区弥生町)

講演数: 2,917件

原著講演 2,775件 シンポジウム講演 117件 招待・企画講演 25件

参加登録者数: 3,721名

会員 3,477名(一般2,165名 学生1,312名)

非会員 244名(一般55名 学生189名)

ほかに、現地実行委員会企画による高校生によるポスターセッションを開催した。

会期: 9月24日(日)午後

場所: 千葉大学第1体育館(ポスター会場)

企画: 高校生によるポスターセッション

発表件数: 38件

参加者数: 約200名

1-1-3. 科学セミナー

セミナー名: 朝永振一郎と21世紀の物理学—量子と時空の生み出す多様性—

会期: 8月10日(木)~11日(金)

会場: 東京大学弥生講堂・一条ホール(東京都文京区)

演題: 12題

聴講者数: 初日 169名(当日参加14名と賛助会員3名を含む)

2日目 129名(当日参加1名と賛助会員1名を含む)

1-1-4. 公開講座

文部科学省から科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」の補助を受け、主に高校生、ほか一般市民等を対象に次の公開講座(聴講無料)を開催した。

1-1-4-1. 理事会企画

企画名: 新原子・反原子の創造

会期: 11月11日(土)

場所: 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的ホール

参加者数: 129名(高校生27名, 大学生15名, 高校の先生27名, 他60名)

補助金額: 114万円

1-1-4-2. 九州支部企画

企画名: 公開シンポジウム 物理教育とその周辺—V—『極限を探る』

会期: 7月29日(土)

場所: 九州大学国際ホール

参加者数: 139名(高校生15名, 会員95名, 非会員29名)

補助金額: 79万円

1-1-5. 国際会議

1-1-5-1. 第8回日露/CIS/バルチック強誘電体シンポジウム

(The 8th Russia/CIS/Baltic/Japan Symposium on Ferroelectricity)

主催: 第8回日露/CIS/バルチック強誘電体シンポジウム組織委員会

会期: 5月15日(月)~19日(金)

場所: 筑波大学学生会館(茨城県つくば市天王台)

本会代表運営委員: 小島誠治(筑波大)

参加者数: 131名

1-1-5-2. 量子液体・量子固体に関する国際シンポジウム

(International Symposium on Quantum Fluids and Solids (QFS2006))

主催: 京都大学大学院理学研究科

会期: 8月1日(火)~6日(日)

場所: 京都大学百周年時計台記念館(京都市左京区吉田本町)

本会代表運営委員: 新井敏一(京大)

参加者数: 255名

1-1-5-3. 物理教育国際会議2006

(International Conference on Physics Education 2006)

主催: 日本物理教育学会

会期: 8月13日(日)~18日(金)

場所: 国立オリンピック記念青年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町)

本会代表運営委員: 兵頭俊夫(東大総合文化)

参加者数: 423名

1-1-5-4. 第17回磁性国際会議

(International Conference on Magnetism (ICM) 2006)

主催: 第17回磁性国際会議組織委員会

会期: 8月20日(日)~25日(金)

場所: 京都国際会館(京都市)

本会代表運営委員: 高梨弘毅氏(東北大金研)

参加者数: 1,500名

1-1-5-5. 第20回国際ラマン分光学会議

(20th International Conference on Raman Spectroscopy)

主催: 第20回国際ラマン分光学会議組織委員会

会期: 2006年8月20日(日)~25日(金)

場所: パシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい)

本会代表運営委員: 濱口宏夫(東大理)

参加者数: 500名

なお、上記5件の国際会議を共催した他に、28件の国際会議の協賛・後援を行った。

1-1-6. 国内会議

- 141 件の国内会議の共催・協賛・後援を行った。
- 1-1-7. その他
- 1-1-7-1. 支部例会、支部特別企画等
 本会の10支部において、例会、特別企画等の会合を開催した。
- 1-1-7-2. 国立科学博物館、日本物理教育学会との共催事業「自然の不思議—物理教室—」
 共同主催：日本物理学会、国立科学博物館、日本物理教育学会
 会期：6月3日(土)、7月1日(土)、9月16日(土)、10月7日(土)、12月2日(土)
 場所：国立科学博物館上野新館(東京都台東区)
 なお、主な対象者は小学5、6年・中学生で、毎回定員10名前後の応募があった。
- 1-1-7-3. 世田谷区への協力事業「世田谷区中学生講座」
 主催：世田谷区教育委員会
 企画協力：日本物理学会
 会期：2月11日(土)、3月4日(土)、6月17日(土)、7月22日(土)、10月21日(土)、11月11日(土)、12月16日(土)
 場所：世田谷区立教育センター(12月16日のみ東大駒場)
 なお、主な対象者は世田谷区内の公立中学生で、毎回定員10~30名前後の応募があった。
- 1-2. 刊行関係
- 1-2-1. 日本物理学会誌
 第61巻第1号~12号を刊行した。A4判、月刊。
 ページ数：総ページ1,438 月平均119.8ページ(予算134ページ)
 刊行部数：総刊行部数215,234 月平均17,936(予算18,700)
 ほかに年次大会・秋季大会のプログラムとして3月増刊号139ページ(本文)18,850部と8月増刊号133ページ(本文)18,150部を刊行した。
- 1-2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)
 Vol. 75 No. 1~13の13冊(No. 13はVolume Index)を刊行した。A4判、月刊。
 ページ数：総論文ページ数3,624(Index含まず)月平均(Index含まず)302(予算303)
 刊行部数：総刊行部数16,500(Index含まず)月平均(Index含まず)1,375(予算1,350)
 掲載論文：本論文357 Letters 136 Short Notes 24 Addenda 0 Comments 0 Errata 3 Invited Review Papers 3 Special Topics 30
- 1-2-3. 講演概要集
 A4判 各4分冊
- | 分冊 | 第61回年次大会
(第61巻第1号) | | 秋季大会
(第61巻第2号) | |
|----|-----------------------|--------|-------------------|--------|
| | 刊行部数 | 本文ページ数 | 刊行部数 | 本文ページ数 |
| 1 | 450 | 178 | 230 | 112 |
| 2 | 1,200 | 334 | 1,000 | 268 |
| 3 | 1,200 | 295 | 1,130 | 258 |
| 4 | 1,450 | 360 | 1,300 | 335 |
- 1-2-4. 大学の物理教育
 B5判 第12巻1~3号(3月、7月、11月)を刊行 総ページ数179 1号平均約60ページ 毎号2,100部刊行
- 1-2-5. 科学セミナーテキスト
 8月に開催した科学セミナー「朝永振一郎と21世紀の物理学—量子と時空の生み出す多様性—」のテキスト A4判 107ページ 480部刊行
- 1-2-6. 公開講座テキスト
 次の企画のテキストをそれぞれ刊行し、無料で配布した。
- 1-2-6-1. 理事会企画
 「新原子・反原子の創造」
 B5判 46ページ 500部刊行
- 1-2-6-2. 九州支部企画
 公開シンポジウム「物理教育とその周辺—V—『極限を探る』」
 A4判 35ページ 200部刊行
- 1-2-7. 本会編の単行本
- 1-2-7-1. 「物理データ事典」
 日本物理学会編 朝倉書店発行 B5判 600ページ
 税込価格 26,250円(2007年3月末日までは会員特価 税・送料込23,000円)
- 1-2-7-2. 「物理学の挑戦」
 日本物理学会編 日本評論社発行 A5判 212ページ 税込価格2,310円
- 1-3. 国際交流・協力
 国際交流・協力として、次のような事業を行った。
- 1-3-1. AAPPS(アジア・太平洋物理学学会連合)の加盟学会として活動支援、機関誌 AAPPS Bulletin の刊行援助、等
- 1-3-2. ASPEN(Asian Physics Education Network)への協力
- 1-3-3. 開発途上国からの投稿者への JPSJ 別刷代援助
- 1-3-4. 開発途上国等への JPSJ の寄贈
- 1-3-5. IUPAP(International Union of Pure and Applied Physics) 関係

- 1-3-5-1. Women in Physics への協力
- 1-4. 図書雑誌および物理学史資料の供覧
 本会所蔵の図書・雑誌、物理学史資料を会員の利用に供した。
- 1-5. 第11回論文賞の表彰
 JPSJ および PROGRESS に掲載された論文の中から、優れた論文5篇を選び表彰した。
- 1-6. 日本学術会議および文部科学省等への協力
 活動および調査等への協力を行った。
- 1-7. 物理教育・理科教育、JABEE、男女共同参画、等に関する活動
- 1-7-1. 「理数系学会教育問題連絡協議会」への参加・協力
- 1-7-2. 「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係
- 1-7-2-1. 物理・応用物理学関連分野での協力
- 1-7-3. 男女共同参画関係
- 1-7-3-1. 男女共同参画学協会連絡会への参加・協力
- 1-8. 電子化・ホームページ関係
- 1-8-1. ホームページによる本会の情報公開
- 1-9. 物理系学術誌刊行協会(IPAP)との運営協力
 JPSJ の編集・刊行を委託している IPAP と協力して JPSJ 購読のサイトライセンス化を推進し、2006年は国内の6機関と契約を結んだ。
- 1-10. 新潟県中越地震被災会員への会費免除
 標記地震(2004年10月)被災会員2名に対して、申請に基づき会費1年分の免除を行った。なお、本免除措置は本年度まで。
- 1-11. その他
- 1-11-1. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)
 本会との共同により理論物理学刊行会が Vol. 115 No. 1~6, Vol. 116 No. 1~6 を刊行した。B5判、月刊
 ページ数：総ページ数 2,480 月平均 207(予算 200)
 刊行部数：総刊行部数 11,000 月平均 916(予算 1,000)
 掲載論文数：本論文 120 Letters 16
 なお上記のほか Supplement No. 161~165 の5冊(総頁数1,514)を刊行した。
2. 処務の概要
- 2-1. 総会・役員会等に関する事項
- 2-1-1. 総会
- 2-1-1-1. 第80回通常総会
 3月27日(月)夕方、第61回年次大会(愛媛大学)の会場で開催した。2005年度事業報告書(会員の異動状況報告書を含む)・収支決算報告書、2006年度事業計画書・収支予算書が原案通り承認された。また、第63期会長(鹿兒島誠一氏)、第62期~63期理事、第62期~63期監事、名誉会員(江崎玲於奈氏、小柴昌俊氏、白川英樹氏)を選出した。
- 2-1-2. 理事会
 下記期日に開催した。
 第468回 1月13日 第469回 2月4日 第470回 3月3日
 第471回 4月8日 第472回 5月13日 第473回 6月10日
 第474回 7月8日 第475回 8月29日 第476回 9月16日
 第477回 10月14日 第478回 11月18日 第479回 12月9日
- 2-1-3. 特別委員会
 下記期日に開催した。
- 2-1-3-1. 会誌編集委員会議
 1月21日 2月18日 3月18日 4月15日 5月20日 6月17日
 7月15日 8月18日 9月16日 10月21日 11月11日 12月9日
- 2-1-3-2. JPSJ 編集委員会議
 1月16日 2月15日 3月9日 4月11日 5月12日 6月12日
 7月18日 8月14日 9月12日 10月16日 11月17日 12月11日
- 2-1-3-3. 刊行委員会議
 2月18日 5月13日 12月4日
- 2-1-3-4. 受賞候補等推薦委員会議
 1月20日 7月10日 9月15日
- 2-1-3-5. 論文賞選考委員会議
 2月18日
- 2-1-3-6. 物理学史資料委員会議
 3月14日 7月28日 10月17日
- 2-1-3-7. 物理教育委員会議
 1月14日 3月18日 5月20日 7月15日 10月21日 12月16日
- 2-1-3-7-1. 大学の物理教育編集委員会議
 1月28日 2月18日 2月25日 5月13日 6月10日 6月24日
 8月18日 9月16日 10月14日 10月28日
- 2-1-3-8. 広報委員会議
 8月21日(情報システム運用委員会と合同開催)
- 2-1-3-9. JABEE 委員会議
 7月1日
- 2-1-3-10. 男女共同参画推進委員会議
 1月14日 10月7日 12月26日
- 2-1-3-11. 情報システム運用委員会議
 2月21日 5月12日 8月21日(広報委員会と合同開催)

2-1-3-12. 領域委員会議

5月24日 11月21日

2-1-3-13. 事務局運営委員会議

5月13日 6月10日 7月8日 8月9日

2-1-3-14. Jr. セッション委員会議

2月3日

2-1-3-15. 物理人材活用委員会議(旧: ポスドク問題検討準備会)

5月18日 6月11日 7月9日 9月11日 10月5日 12月27日

2-1-4. その他

上記のほか会計理事会議, 事務局運営委員会内に設置された幹事会と改革タスクフォース, および理事会・特別委員会内に設置された小委員会議, 等を必要に応じて開催した。

2-2. 許可, 認可および承認に関する事項

申請月日	申請先	申請事項	指令月日
(なし)			

2-3. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類	期間
9月16日	(株)東京洋紙店	「日本物理学会誌」用紙供給に関して	1年
12月25日	(株)科学技術社	会誌等広告掲載料に関する覚書	—

3. 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2005年 12月31日現在	2006年 12月31日現在	
正 会 員	17,355 ¹⁾	17,225 ²⁾	-130
学生会員	141	109	-32
賛助会員	101(386口)	96(358口)	-5(-28口)
特別会員	957 ³⁾	941 ⁴⁾	-16
計	18,554	18,371	-183

¹⁾ うち名誉会員 2, 終身会員 600, 大学院生で学生会員会費適用者 2,304

²⁾ うち名誉会員 4, 終身会員 457, 大学院生で学生会員会費適用者 2,395

³⁾ 会誌: 国内 295 国外 4, JPSJ: 国内 198 国外 460

⁴⁾ 会誌: 国内 287 国外 5, JPSJ: 国内 198 国外 451